

重点施策12 文化振興事業の充実

【施策方針】

優れた文化芸術事業や郷土の先駆者を顕彰する企画展、歴史探検学習等を実施し、市民が文化活動・郷土史学習に参加し体験できる場を提供することにより、郷土愛を育むとともに、文化活動の支援と地域文化を支える人材の育成に主眼を置き、幅広い分野での芸術、文化活動の市民への普及、啓発を実施する。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

■文化芸術事業の振興

- ① 八幡浜市美術展の開催
- ② 県展八幡浜移動展の開催
- ③ 郷土企画展「八幡浜街道笠置峠越とその周囲」の開催
- ④ 八幡浜市コレクション展「新田好・大政弘典写真展 ふるさとを撮る」の開催

■文化会館事業

- ① 文化会館管理・運営
- ② 自主文化事業の開催
- ③ 企画プロデュース事業への助成
- ④ カルチャー教室・ロビー展の開催

(2) 施策・事業の実施状況

■文化・芸術事業の振興

① 八幡浜市美術展の開催

市民より作品を募集し、絵画（洋画、日本画）、書道、写真、工芸等の各分野から192点の応募があった。特に優秀な作品については市展優賞、市長賞、議長賞、教育長賞、文化協会長賞、推奨、高校生奨励賞等の表彰を行い、作品制作の励みとなるようにした。

観覧料は無料。観覧者1,338人（八幡浜市美術展委託料）399千円

② 県展八幡浜移動展の開催

県展出品者の中から、八幡浜市出身者の作品を中心にして、八幡浜市美術展と同じく、絵画（洋画、日本画）、書道、写真等の作品130点を展示した。

観覧料は無料。観覧者957人（県展八幡浜移動展委託料）263千円

③ 郷土企画展「八幡浜街道笠置峠越とその周囲」の開催

平成29年10月13日、「八幡浜街道笠置峠越」が国史跡に指定されたことを記念

し、道と地域の歴史、四国遍路との関わりを紹介する企画展を開催した。本展では道沿いの石造物や、地域に残る資料や伝承から道と地域の歴史を見つめ、四国遍路や人々の往来に笠置峠越えの道が果たした役割などを紹介した。

併せて愛媛県歴史文化博物館専門学芸員による「出版物・お遍路・地域から見た四国遍路」と題した関連講座や、西予市教育委員会と協力して、駅からウォーク「国史跡の街道と宇和の古墳群に行く」等の関連事業を開催。

会期 10月8日～11月4日（24日間） 観覧者 485人 （資料展示輸送委託料ほか）1,254千円（うち、イベント助成金 630千円）

④ 八幡浜市コレクション展「新田好・大政弘典写真展 ふるさとを撮る」の開催

平成27・28年に寄贈を受けた郷土の写真家の作品を展示。ライフワークとして佐田岬半島の人びとを撮り続けた新田好、魚市場で働く人びとを撮り続けた大政弘典。二人が見つめた「ふるさとの人びと、ふるさとの風景」を紹介した。

会期 6月30日～7月29日（25日間） 観覧者 550人

■文化会館事業

① 文化会館管理・運営

市民の日常の学習や文化活動の場として自己を高め、芸術文化の向上と地域文化を育み創造を図るとともに、生涯学習の拠点として自主文化事業の他、貸館業務や企画プロデュース事業、カルチャー教室、ロビー展などを実施した。

② 自主文化事業の開催

「四国フィルハーモニー管弦楽団サマーコンサート」や「ゆめみかん落語会プリンス三人会」、「川井郁子ヴァイオリンコンサート」など、音楽ホールとしての機能を重視して整備した大ホールでのクラシック系のコンサートや古典落語など幅広いジャンルの公演を開催。

③ 企画プロデュース事業への助成

市民が企画・立案し自主運営する文化事業（映画会・講演会・コンサート等）の支援を実施した。2件（MOTHER-むすひ-、宮本益光の楽しいクラシックコンサート）

④ カルチャー教室・ロビー展の開催

カルチャー教室については、地域文化の創造に貢献できる人材を育成するために公民館の学習講座と整合を図り「夢づくり・夢学び」をキャッチフレーズに、3講座をそれぞれ年間10回開講した。

また、ロビー展を作品発表の場として開放し「ミニ美術館」として活用し、市民の方々の優れた作品を展示し鑑賞していただいている。

【事務事業点検評価委員意見】

- 文化・芸術事業は、美術展や郷土企画展、写真展など、いずれも地域に根差した素晴らしい作品が展示され、市民にとって貴重な文化交流の場となっていた。絵画においては、制作者の想いが伝わってくる迫力ある作品に、質の高さを感じることができた。市美術展で高校生奨励賞を設けていることは、若い才能を伸ばす上で大変意義がある。四国遍路やそこに生きた人々の思いに心を馳せることのできた郷土企画展は、他の市町や専門機関及び地元と連携して現地を実際に歩く等、知識だけでなく体験活動を取り入れた興味深いものであった。なつかしいふるさとの風景を写した「新田好・大政弘典写真展」は、貴重で感動的な事業であった。新田好氏の撮影された、佐田岬半島の明るくたくましい人々の姿は、古さを感じることなく、今も私たちの心に迫ってきた。また、大政弘典氏の魚市場の写真からは、魚市場のせりの声が聞こえてきそうであった。今後も、郷土愛を育む事業や若者の文化活動支援を続けてほしい。
- 文化会館事業は、非常に幅広いジャンルの事業ができており、大変好評であった。今後も中央で活躍されている方々を招き、本物の芸術にふれる機会を作ってほしい。さらに、市民に対しての広報活動にも力を入れてほしい。企画プロデュース事業やカルチャー教室・ロビー展など、地道な活動を継続していることは、有意義である。今後、ゆめみかんも音響などの老朽化も進んでいくと思われる。早いうちの施設設備の改修・新調に取り組んでほしい。

【自己評価】

- 地域に根差した作品や資料を展示紹介することは、郷土愛の醸成に役立つものと考えている。特に児童生徒に観覧の機会を提供し、ふるさとへの関心の喚起につなげるため、今後も計画的に各種企画展示を実施していきたい。
- 自主事業に関しては、幅広いジャンルの公演ができて良かったように思う。より多くの市民に観賞していただけるようホームページや市広報、TV等による告知を行っていきたい。設備面では、音響関係をはじめ各機器の不具合が発生している。館の運営に支障が出ないよう予算的に可能な範囲で器具の交換修繕を行っていきたい。